

いわての脳卒中



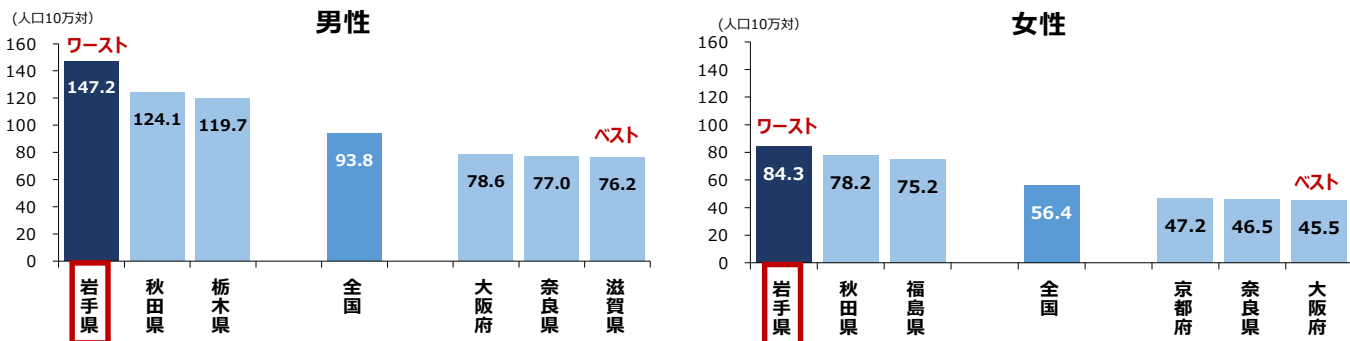
～ 脳卒中を予防しましょう ～

岩手県は、脳卒中（脳血管疾患）による死亡率が全国で最も高くなっています。
最新のデータから、岩手県の脳卒中の現状についてご紹介します。

1 岩手県の脳卒中死亡率 男女ともに 全国ワースト

岩手県の脳卒中による年齢調整死亡率は男女ともに全国で最も高く、2番目に高い秋田県と比べても更に高い状況です。

脳卒中の年齢調整死亡率（令和2年）※1

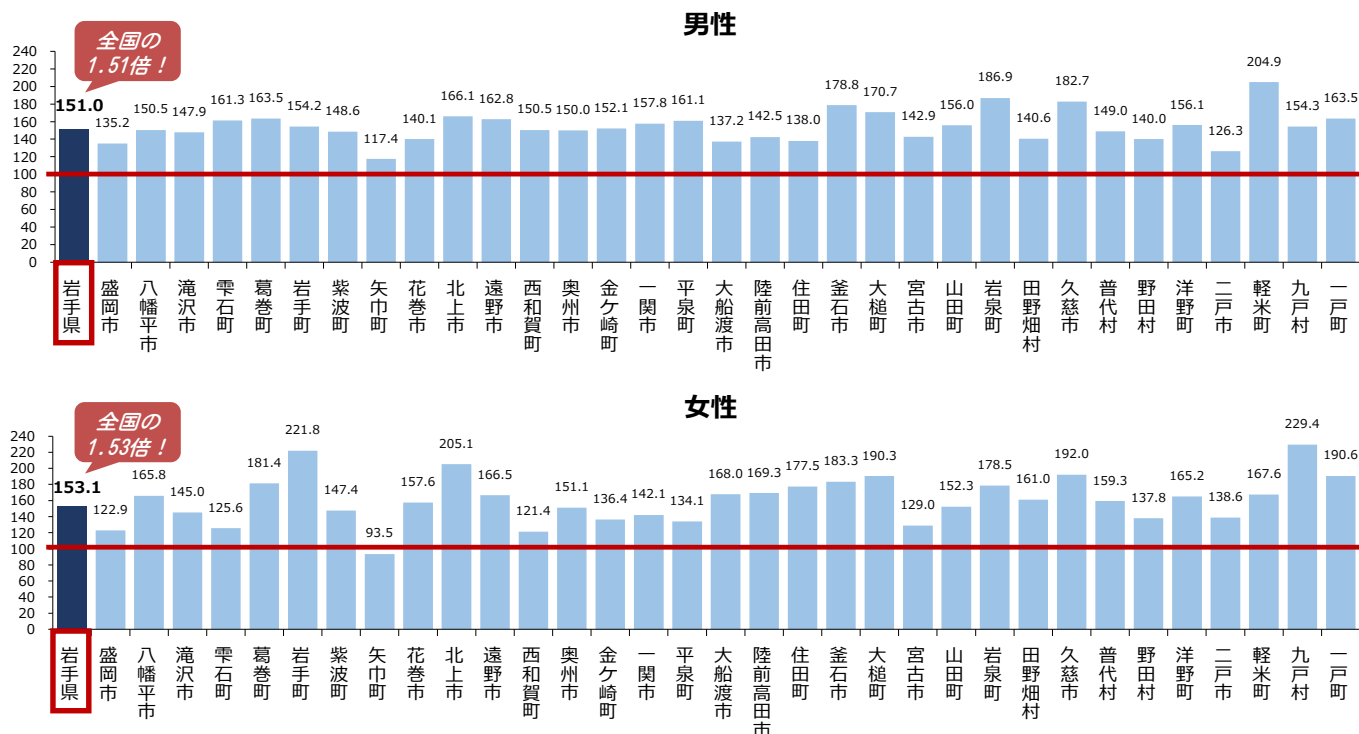


※1 [出典] 厚生労働省「令和5年度人口動態統計特殊報告（令和2年都道府県別年齢調整死亡率の概況）」
年齢調整死亡率：人口構成の異なる集団間の比較のため、死亡率を一定の基準人口に当てはめて算出した数値。

脳卒中による死亡の状況について、県内市町村と全国を比較してみると、男性では全ての市町村で、女性ではほぼ全ての市町村（矢巾町を除く）で、全国よりも高くなっています。

脳卒中による死亡の全国と岩手県・市町村の比較

[平成30年～令和4年 脳卒中の標準化死亡比（全国＝100）※2]



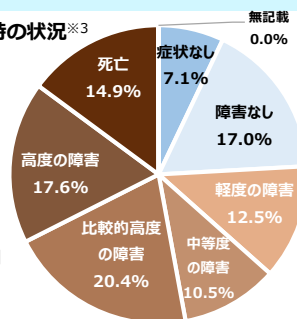
※2 [出典] 厚生労働省「人口動態統計特殊報告（平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計の概況）」
標準化死亡比：年齢構成が異なることによる影響を除いて、死亡率を全国と比較した数値。
標準化死亡比が100より大きい（小さい）場合は、死亡率が全国より高い（低い）ことを表します。

脳卒中にかかった方のうち、症状や障がいがなく回復する方はわずか24.1%。およそ15%の方が亡くなり、61%の方は障がいが残る状態です。脳卒中は認知症に続いて、要介護者になった原因の第2位※4となっています。

【出典】※3 岩手県、一般社団法人岩手県医師会「2022年（令和4年）岩手県地域脳卒中登録事業報告書」
年齢階級別性別転帰（臨床診断別）

※4 厚生労働省「2022（令和4）年国民生活基礎調査」

脳卒中り患者の退院時の状況※3
（令和4年）

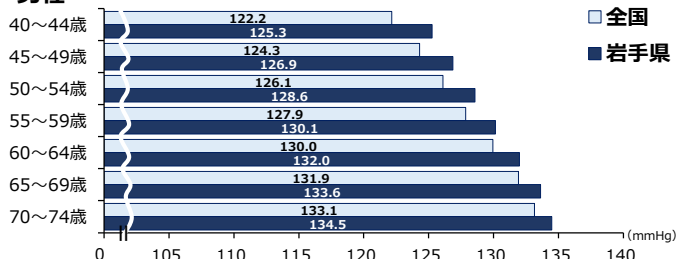


血圧が高い状態が続くと、動脈硬化が進み、脳卒中の原因になります。岩手県民の収縮期血圧（最高血圧）の平均値は、男女ともに全ての年代で全国よりも高い状況です。特に、若い世代ほど全国との差が大きくなっています。

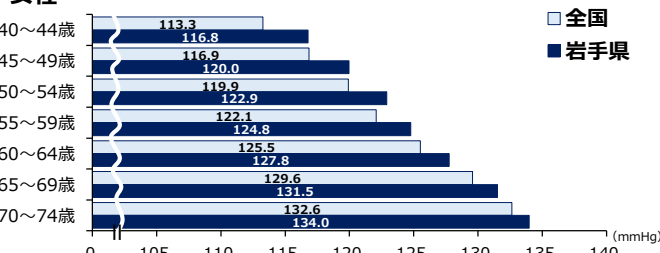
収縮期血圧（最高血圧）の平均値（令和4年度）

【出典】厚生労働省「第10回NDBオープンデータ（特定健診情報）」

男性



女性



こんな症状が出たら 迷わず すぐに119番

● 言葉が出てこない
ろれつが回らない



● 急な激しい頭痛



● 顔半分や左右どちらかの
手足の感覚がおかしい・
動かない



脳卒中 は一刻も早く治療を始めることが大切です

● グルグルまわるようなめまい
フラフラして立てない・歩けない



● 片方の目が見えなくなる
視野の半分が見えなくなる
物が二つに見える



● 意識がもうろうとする
反応がない



※すぐに症状が消失（一過性脳虚血発作）しても、脳卒中の前触れである可能性があります。

みんなで健康になろう！

いつまでも わらって健康 てを取り合って

健康で、心豊かに暮らすためには、毎日の望ましい生活習慣の積み重ねが大切です。

生活習慣の見直しと適正な血圧管理で脳卒中を予防しましょう。できることから始めてみませんか。

岩手県では、県民のみなさまの健康づくりの取り組みに役立てていただくため、健康に関する様々な情報を発信しています。ぜひ、ご活用ください。



岩手県公式HP
【いわて健康情報ポータルサイト】



岩手県公式HP
【保健情報の広場】



岩手県健康国保課
【公式X】



いわて健康幸福宣言